

令和6年度用小学校音楽

## 指導計画案 (2024.2.29)

株式会社 教育芸術社

### 【本資料について】

- 本資料は、教育芸術社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈104～604〉」に基づいて作成されています。(用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。)

### 【本資料の扱い方について】

- 扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- 本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

- 本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

題材名	1. 歌声をひびかせて心をつなげよう	扱い時数の目安
		4時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。</p>	
題材の意図		
<p>5年生最初の本題材では、クラス替えや友人関係を意識した歌詞をもつ歌唱教材と共通教材の「このぼり」が配置されています。友達と声を合わせて歌う活動を通して、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、1年間の学習のスタートを切るようにします。</p> <p>4年生までに学習してきたことを生かし、リズムや強弱、旋律の音の動きなどの音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについて考え、歌詞の内容と曲想にふさわしい表現を工夫しながら、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う学習を進めましょう。</p> <p>また、伴奏をよく聴いて、伴奏の響きやその変化が生み出す曲想を感じ取りながら歌う学習に取り組み、各パートや全体の響きを聴き合いながら声を合わせて歌う学習に向けた準備をします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>[共通事項]*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、リズム、旋律、強弱</li> </ul>		

※・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み核となるものについては、太字で示しています。

- 音符、休符、記号や用語

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。	○すてきな一歩	1    2	<p>●\見つける/ 曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の内容との関わりを理解して歌う。</p> <p>●\考える/ 曲想の変化を感じ取って表現を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 互いのパートや伴奏を聴いて二部合唱をする。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②技【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③技【演奏聴取】</p>
曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。	(共) こいのぼり	3   4	<p>●\見つける/ 歌詞の内容を理解したり、曲の特徴について調べたりして歌う。</p> <p>●\考える/ 調べたことを生かして歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 曲の特徴を生かして呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>④技【演奏聴取】</p> <p>◆曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、発言内容、振り返りシート】</p> <p>※第1時から第4時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	2. 音の重なりを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		5時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 歌声や楽器の音が重なり合う響きを、感じ取りながら表現したり味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる音の重なりに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>本題材では、リコーダーの音や歌声が重なり合うそれぞれの響きを味わい、それらを生かして演奏の仕方を工夫したり、弦楽合奏の響きの美しさや演奏のよさなどを味わって聴いたりする学習を進めます。</p> <p>器楽の学習では、イ短調の楽譜を見て演奏する学習を取り上げます。長調の音階の響きとの違いを味わったり互いの音を聴いたりしながら、音を合わせて演奏する力を養うようにします。</p> <p>歌唱や鑑賞の学習では、旋律の重なり方の違いや変化が生み出す曲想に焦点を当て、互いの声部を聴き合いながら二部合唱したり、異なる音域の弦楽器の音が重なり合う響きを味わって聴いたりする力を養うようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、旋律、音の重なり、音階、調</li> <li>イ 音楽の縦と横との関係</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。(器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部のリコーダーの音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④知 曲想と音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌)</p> <p>⑤技 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>⑥知 曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。(鑑)</p>	<p>思① 音色、音の重なり、音階、調を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思③ 音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p>	<p>態① 歌声や楽器の音が重なり合う響きを、感じ取りながら表現したり味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。	◇小さな約束	1          2	<p>●\見つける/ 曲全体を聴いて曲想を感じ取り、主な旋律を演奏する。</p> <p>●旋律の特徴に気付いて、副次的な旋律を演奏する。</p> <p>●\考える/ リコーダーの音色、旋律の音の動きや重なり方に気を付けて、演奏の仕方を工夫する。</p> <p>●\演奏する/ 互いの音を聴き合いながら、二部合奏をする。</p>	<p>◆曲想と音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>②技【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆音色、音の重なり、音階、調を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部のリコーダーの音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③技【演奏聴取】</p>
歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	○いつでもあの海は	3       4	<p>●曲全体を聴いて曲想を感じ取ったり、歌詞の内容を捉えたりして、主な旋律（上声部）を歌う。</p> <p>●\見つける/ 副次的な旋律（下声部）を歌い、二部合唱をして、ア、イ、ウそれぞれの曲想や旋律の重なり方の違いを捉える。</p> <p>●\考える/ 声の響きや声量のバランスなどに気を付けて、ア、イ、ウそれぞれの旋律の重なり方を生かした歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 互いのパートを聴き合いながら、二部合唱をする。</p>	<p>◆曲想と音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>④知【ワークシート】</p> <p>◆旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>⑤技【演奏聴取】</p>
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 愛のあいさつ から(参考曲)	5	<p>●曲を聴き、弦楽器の音色や特徴などについて知る。</p> <p>●\見つける/ 旋律の重なり方の違いに気を付けながら曲を聴く。</p> <p>●\考える/ いろいろな弦楽器の音が重なり合う合奏の響きのよさや美しさを味わいながら、曲全体を聴く。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>⑥知【ワークシート】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>思③【ワークシート】</p> <p>◆歌声や楽器の音が重なり合う響きを、感じ取りながら表現したり味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、振り返りシート】</p> <p>※第1時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	3. いろいろな音のひびきを味わおう	扱い時数のめやす
		8時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) いろいろな楽器の音色やそれらの重なりなどのよさを味わいながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。</p>	
題材の意図	<p>「2. 音の重なりを感じ取ろう」の学習を踏まえながら、本題材では、いろいろな楽器の音の響きやそれらが組み合わさったことによる楽器の音が重なり合う響きのよさや面白さについて感じ取ったり、それを生かして表現を工夫したりする活動を進めていきます。</p> <p>活動の内容としては、木、金属、皮など、材質の異なる楽器の音が重なり合う響きの面白さや豊かさを感じ取れるようにし、それらの組合せを工夫することによる響きの変化を楽しみながら演奏したり、音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったりすることができるようにします。また、2年生の鑑賞曲「だがつき パーティー」、3年生の金管楽器の鑑賞、4年生の木管楽器の鑑賞、前題材の弦楽合奏の鑑賞をまとめるかたちで、音色の異なる様々な楽器が一体となって豊かな響きを生み出すオーケストラの曲を鑑賞する学習も取り上げます。曲や演奏についてよかった点を伝え合う活動を取り入れるなどして、曲全体を味わって聴く喜びを感じ取れるようにしていきます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (2)器楽ア、イ(7)(4)、ウ(7)(4)(5) (3)音楽づくりア(7)(4)、イ(7)(4)、ウ(7)(4)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、旋律、音の重なり</li> <li>イ 反復、呼びかけとこたえ、変化</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語             <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセント、へ音記号</li> </ul> </li> </ul>	

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知・技 曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>③知・技 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④知 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて理解している。(鑑)</p> <p>⑤知・技 いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p> <p>⑥知 リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。(づ)</p> <p>⑦技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p>	<p>思① 音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思③ 音色、リズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。(づ)</p> <p>思④ 音色、リズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(器)</p> <p>態② 楽器の音色や響きの変化、旋律の交替に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p> <p>態③ 打楽器の音色の組合せやリズムのつなげ方や重ね方に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(づ)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう。	◇リボンのおどり (ラ バンバ)	1   2   3	<p>●見つける/ 各パートの旋律の特徴を捉えて演奏する。</p> <p>●考える/ 重なり合う響きの変化の面白さを生かして、表現の工夫をする。</p> <p>●演奏する/ グループで工夫した「リボンのおどり」を発表し合う。</p>	<p>◆曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、節奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>①知・技【演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>②技【演奏聴取】</p> <p>◆音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③知・技【演奏聴取、発言内容】</p> <p>◆楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、発言内容、振り返りシート】</p> <p>※第1時から第3時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
オーケストラのひびきに親しみましょう。	♪祝典序曲 アフリカン シンフォニー(参考曲)	4  5	<p>●見つける/ 主な三つの旋律を演奏する楽器の音色や響きを感じ取って「祝典序曲」を聴く。</p> <p>●考える/ オーケストラの響きの変化を味わいながら曲全体を聴き、紹介文を書く。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>④知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>思②【行動観察、ワークシート、発言内容】</p> <p>◆楽器の音色や響きの変化、旋律の交替に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態②【行動観察、発言内容、振り返りシート】</p> <p>※第4時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

<p>打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。</p>	<p>☆打楽器でリズムアンサンブル</p>	<p>6</p>	<p>●\みつける\つくる/ 音の特徴を確かめながら、楽器を組み合わせで鳴らす。</p> <p>●\考える/ 音の特徴や重なり合う響きの面白さを考えて、楽器の組合せを決める。</p>	<p>◆いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>⑤知・技【行動観察、発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆音色、リズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。</p> <p>思③【行動観察、ワークシート】</p>
		<p>7</p>	<p>●\見つける/ 選んだリズムをつなげたり重ねたりして、演奏する順番や重ね方を見付ける。</p>	<p>◆リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。</p> <p>⑥知【発言内容、教科書の書き込みやメモ】</p>
		<p>8</p>	<p>●\つくる\考える/ 音楽の仕組みを生かして、リズムのつなげ方や重ね方を工夫し、自分たちのリズムアンサンブルを完成させ、発表し合う。</p>	<p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>⑦技【演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆音色、リズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思④【演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆打楽器の音色の組合せやリズムのつなげ方や重ね方に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態③【行動観察、発言内容、振り返りシート】</p> <p>※第6時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>



題材名	4. 和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		6時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて表現する技能や、呼びかけとこたえや変化など、これまで学んだ音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら表現する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>これまでも様々な活動を通して、旋律やいろいろな楽器の音が重なり合う響きの美しさなどを感じ取ってきましたが、本題材では、I、IV、V及びV7の和音を中心に、長調の和音と、その響きの移り変わりを学習します。</p> <p>学習を進めるに当たっては、I、IV、Vなどの和音の響きに合わせて体を動かしたり、部分的に三つのパートに分かれる曲を合唱したりして、それぞれの和音の響きの違いやそれらが移り変わることによって生まれる表情の変化を感じ取ることができるようにします。</p> <p>そのうえで、和音の響きの移り変わりから曲想を感じ取って歌い方を工夫したり、斉唱部分と合唱部分を交互唱することを通して、歌声が重なり合って生み出される三部合唱の響きを聴きながら声を合わせて歌ったりすることができるようにします。これらの学習を踏まえて、和音に含まれる音を使った旋律づくりを行い、和音の響きの移り変わりを感じ取りながら旋律をつくる技能も育てます。また、前の題材で学習したへ音譜表の視奏にも慣れ親しむ活動を進めていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)、ウ(ア)(ウ)</p> <p>(3)音楽づくりア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、旋律、音の重なり、和音の響き、調</li> <li>イ 呼びかけとこたえ</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わりについて理解している。(歌・器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③知・技 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。(づ)</p>	<p>思① 音色、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 旋律、和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら表現する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・づ)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
和音のひびきの移り変わりを 感じ取りながら歌いまし ょう。	○◇静かにねむれ	1  2	●伴奏の響きを聴きながら、曲全体の感じを捉えて旋律を歌う。 ●見つける/ ハ長調の主要な和音を鍵盤楽器で演奏して、各和音の響きを感じ取る。  ●歌う/ 和音の響きの移り変わりを 感じ取りながら、鍵盤楽器の伴奏 と合わせて歌う。	◆曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わりについて理解している。 ①知【行動観察、発言内容】
和音のひびきの移り変わりを 感じ取りながら合唱しま しょう。	○こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore) こげよ マイケル(参考曲)	3  4	●見つける/ 曲の特徴を感じ取って、①のパート(主な旋律)を歌う。 ●考える/ 互いの声の響き合いや伴奏の響きを意識し、声の出し方を工夫しながら合唱する。  ●歌う/ 和音の響きやその移り変わりを 感じ取りながら合唱する。	◆音色、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思①【ワークシート、発言内容】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】
和音のひびきの移り変わりを 感じ取りながら旋律をつ くりましょう。	☆「静かにねむれ」の和音で旋律づくり	5  6	●ハ長調の和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを 感じ取る。 ●つくる/考える/ 和音に含まれる音と示されたリズムを使って、イメージに合う旋律をつくる。  ●考える/見つける/ 和音に含まれる音のつなげ方を工夫して、イメージに合った旋律を完成させる。 ●つくった旋律を和音と低音に合わせて発表し合う。	◆旋律、和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、ワークシート】  ◆音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。 ③知・技【ワークシート、発言内容】 ◆和音の響きやその移り変わりを 感じ取りながら表現する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、演奏聴取、振り返りシート】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	5. 曲想の変化を感じ取ろう	扱い時数のめやす
		5時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。</p>	
題材の意図		
<p>本題材では、4年生の「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」「せんりつ为重なりを感じ取ろう」の学習や5年生のこれまでの学習などを支えとして、「曲想」とその変化を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり演奏したりする学習を展開します。</p> <p>本題材に配置されているハ長調の二部合唱教材とイ短調の器楽合奏教材は、いずれも楽曲中での曲想の変化が分かりやすくなっています。学習を進めるに当たって、まずは、歌ったり演奏したりする中で、子供たちが曲想の変化をしっかりと捉えられるようにします。次に、その変化はリズム、旋律、強弱、音の重なりなど、どのような音楽を形づくっている要素によって生み出されているのかについて、気付いたことや感じたことを互いに伝え合い、実際に歌ったり演奏したりして確かめながら理解を深めます。そして、子供たちが学んだ知識を生かし、それぞれの教材にふさわしい表現の仕方を工夫して歌ったり演奏したりすることができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なり</li> <li>イ 呼びかけとこたえ</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ナチュラル、くり返し記号(1、2番かっこ)</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③知 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。(器)</p> <p>④知・技 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 音色、旋律、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>	<p>態① 曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想の変化を感じ取って、明るい声で歌いましょう。	○夢の世界を	1    2	<p>●\見つける/ 歌詞の内容を捉え、<b>ア</b>と<b>イ</b>の曲想の違いを感じ取って主な旋律（上声部）を歌う。</p> <p>●副次的な旋律（下声部）を歌い、二部合唱をする。</p> <p>●\考える/ リズム、旋律、強弱、音の重なりなどに気を付けて、<b>ア</b>と<b>イ</b>の曲想の違いを生かした歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、互いの声部や伴奏を聴き合いながら二部合唱をする。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>①知【ワークシート】</p> <p>◆音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【ワークシート、発言内容】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②技【演奏聴取】</p>
曲想を生かして合奏しましょう。	◇キリマンジャロ	3  4  5	<p>●曲想を感じ取りながら全体を聴き、曲の構成を捉える。</p> <p>●<b>ア</b>と<b>イ</b>の旋律の特徴を捉え、楽器の音色、旋律、呼びかけとこたえなどに気を付けて、主な旋律のパートを演奏する。</p> <p>●鍵盤楽器と低音楽器のパートの特徴を捉えて演奏する。</p> <p>●\考える/ 担当するパートを分担し、<b>ア</b>と<b>イ</b>の曲想の違いを感じ取りながら、強弱や音の重なりなどに気を付けて、曲想にふさわしい演奏の仕方を工夫して合奏する。</p> <p>●\演奏する/ 楽器の音色や響きに気を付け、互いのパートや全体の響きを聴き合いながら、曲想やその変化を生かして合奏する。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>③知【ワークシート、発言内容】</p> <p>◆音色、旋律、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④知・技【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、振り返りシート】</p> <p>※第1時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	6. 詩と音楽との関わりを味わおう	扱い時数のめやす
		6時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 詩と音楽との結びつきについて考えて聴いたり歌ったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲などに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>我が国には優れた歌曲の作品が多くあり、それらは日本語の美しい歌詞と、言葉のもつ語感を大切にしてくられた旋律とが一体となって、歌う人や聴く人の心を捉えます。</p> <p>本題材では、「待ちぼうけ」を中心に山田耕筰の作品を取り上げ、歌詞と旋律とが一体となって生み出す曲想や演奏表現の工夫のよさを感じ取りながら、鑑賞の学習を進めます。</p> <p>学習を進めるに当たっては、作詞者、作曲者、演奏者の視点に立って、それぞれの工夫について自分の考えをもち、友達と意見交流をしながら、曲の特徴や演奏のよさを理解することにつなげていき、曲全体を聴き深めることができるようにします。</p> <p>また、季節にちなんだ共通教材2曲を配置していますので、これまでに身に付けてきた学びや、「待ちぼうけ」の鑑賞で得たことを生かして、豊かな表現で歌うようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ (イ) (ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、リズム、速度、<b>旋律</b>、強弱、フレーズ</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。(鑑)</p> <p>②知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 音色、リズム、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思③ リズム、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p> <p>態② 歌詞の内容や曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。	♪待ちぼうけ 赤とんぼ(参考曲) この道(参考曲)	1    2	●見つける/ 言葉のリズムや抑揚、語感を感じ取りながら、詩の内容を捉える。 ●見つける/ 詩と音楽との結び付きや、曲の特徴に気を付けて聴く。  ●考える/ 曲想や表現の工夫のよさを味わって聴く。  ●声の種類や演奏形態の違いが生み出す演奏のよさを味わって聴く。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。 ①知【発言内容、ワークシート】  ◆音色、リズム、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容、ワークシート】 ◆言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、振り返りシート】 ※第1時から第2時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。	(共)冬げしき	3   4	●見つける/ 曲想と旋律の特徴や強弱記号、言葉のまとまりとの関わりを捉える。  ●考える/ 呼吸や発音の仕方に気を付けながら、歌詞の表す情景や気分が伝わるように表現を工夫して歌う。	◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ②知【発言内容、ワークシート】  ◆旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、発言内容、ワークシート】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③技【演奏聴取】
曲想を生かして歌いましょう。	(共)スキーの歌	5  6	●曲想とリズムや速度、旋律との関わりを捉える。  ●考える/ 旋律やリズムの特徴などを生かした表現を工夫して歌う。	◆リズム、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思③【ワークシート、発言内容】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③技【演奏聴取】 ◆歌詞の内容や曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、振り返りシート】 ※第3時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	7. 日本の音楽に親しもう	扱い時数のめやす
		5時間
題材の目標	(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本の音楽や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 日本の音楽の特徴を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本の音楽のよさなどを味わう感性を育む。	
	題材の意図	
<p>日本には、3、4年生で学習してきたような郷土に伝わるお囃子や民謡をはじめ、人々によって昔から守り伝えられてきた様々な音楽があります。本題材では、箏と尺八による音楽や郷土に伝わる民謡を鑑賞する学習を通して、我が国や郷土の音楽に親しみながら、長く受け継がれてきた伝統や文化への理解も深めていくようにします。</p> <p>声の出し方や歌い回し、拍のある音楽や拍のない音楽といった観点から幾つかの民謡を聴き比べる過程で、生活と結び付いて歌い継がれてきた音楽があることに気付くとともに、気付いたことや感じたことを発表し合う活動を通して、我が国や郷土に伝わる音楽のよさや特徴を感じ取って、親しむようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ) B鑑賞 ア、イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、速度、 <b>旋律</b> 、拍 イ 呼びかけとこたえ ・音符、休符、記号や用語 フラット		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。(鑑) ②知・技 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)	思① 音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音楽や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑) 思② 音色、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音楽の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌) 思③ 旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の民謡や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)	態① 日本の音楽の特徴を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・鑑)

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想の変化を感じ取りながら、日本の楽器のひびきを味わってききましょう。	♪春の海	1  2	●\見つける/ 箏と尺八の音色に親しみ、旋律の特徴や音の重なり方に気を付けて聴く。  ●\考える/ 曲のよさや演奏の工夫を見だし、曲全体を味わって聴く。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。 ①知【発言内容、ワークシート】  ◆音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、ワークシート、発言内容】
日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	(共)子もり歌	3	●\見つける/ 二つの旋律の違いを捉える。 ●\考える/ 二つの旋律の感じを生かした歌い方を工夫する。  ●\歌う/ 呼吸や発音の仕方に気を付け、旋律の感じを生かして二つの旋律を歌う。	◆音色、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音楽の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、演奏聴取、ワークシート】 ◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②知・技【ワークシート、演奏聴取】
音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節 ♪かりぼし切り歌 (チャレンジ)小さな淡黄色の馬(参考曲)	4	●\見つける/ 二つの民謡がどちらのリズムの曲かを確認する。 ●\考える/ 二つの民謡を聴き比べ、日本の民謡のよさを味わう。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。 ①知【発言内容、ワークシート】 ◆旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の民謡や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、ワークシート、発言内容】 ◆日本の音楽の特徴を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、振り返りシート】 ※第1時から第4時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
	(チャレンジ)日本の民謡めぐり	5	●\チャレンジ/ 日本のいろいろな民謡を聴いて、その特徴を感じ取る。	



題材名	8. 思いを表現に生かそう	扱い時数のめやす
		5時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。</p>	
	題材の意図	
<p>5年生の最後となる本題材では、これまでの学習のまとめとして、今までに学習してきたことを生かして、自分たちの思いが伝わるように歌ったり演奏したりすることを意図しています。</p> <p>卒業式などの学校行事が行われるこの時期に、学級全体で自分たちの思いや願いを共有し、それらが伝わるような表現の工夫を話し合うなどして、6年生を送る側の代表としての5年生という立場ならではの思いを生かして表現する学習を進めます。共に音楽をつくり上げていく喜びを味わい、表現の質を高めていくようにしましょう。</p> <p>みんなで声や音を合わせ、気持ちを一つにして、心を込めて演奏する音楽活動は、生活の中で音楽を生かそうとする態度や、学校内外の様々な音楽に興味・関心をもち、音楽活動に主体的に関わっていく態度の育成につながります。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズ</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語</li> </ul> <p>スラー</p>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。(器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>③知 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(歌)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。	◇威風堂々 威風堂々 第1番(参考曲)	1  2  3	●\見つける/ オーケストラの演奏を聴いたり、「威風堂々」の主な旋律(①のパート)を演奏したりして、旋律の特徴を捉える。  ●\考える/ ①のパートの旋律の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫する。  ●\演奏する/ 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、それぞれのパートや全体の響きを聴きながら合奏する。	◆曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。 ①知【発言内容、ワークシート】  ◆音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思①【行動観察、ワークシート、発言内容】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び鍵盤楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【行動観察、演奏聴取】
歌詞の表す気持ちを大切に して歌いましょう。	○それぞれの空	4  5	●\見つける/ 各部分の曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりを理解し、大切に歌いたい部分を見付ける。  ●\考える\歌う/ 曲の特徴にふさわしい歌い方を工夫し、互いの声部や全体の響きを聴き合いながら、心を込めて二部合唱をする。	◆曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ③知【行動観察、楽譜の書き込み、発言内容】  ◆音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、楽譜の書き込み、発言内容】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ④技【演奏聴取】 ◆思いを表現に生かす活動に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、振り返りシート】 ※第1時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。